

山形県環境アドバイザー プロフィール

氏名	いまい ただし	所属 役職等	動物・自然カメラマン（映像・写真） 希少猛禽類研究家 ほか			
	今 井 正					
主な 専門分野	イヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類の調査研究 イヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類を中心とした動物・自然の写真撮影と映像撮影					
	カテゴリー		可否	テーマ（一部省略しているものがあります）		
講演分野	地球環境					
	水・大気・土壤環境	大気環境				
		水環境				
		土壤環境				
	自然環境・生物多様性		◎	野鳥観察・動物・希少種・希少猛禽類		
	廃棄物・リサイクル					
	エネルギー					
	環境学習					
	環境と健康					
	環境経営・環境活動					
実施方法	講演会・学習会	体験学習	ワークショップ			
	○					
これまで の講演等 の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・猛禽類にやさしい森林施業 一林野庁東北森林管理局（秋田市） ・大型猛禽類の生態と森林施業について 一林野庁中部森林管理局（長野市） ・憧れのイヌワシ・クマタカ その生態を追い続ける人生 一金山町立明安小学校（金山町） ・東北地方におけるイヌワシ・クマタカの現状と保護対策 一東北電力グリーンプラザ（仙台市） 					
対象	どんな団体でも		○			
	小学（低）	小学（高）	中学	高校	企業	一般県民
						環境保全団体
ホームページなど						
環境に 関心を持つ 方へのメ ッセージ	<p>大型猛禽類のイヌワシ・クマタカは、山地生態系の頂点に立つアンブレラ種である。山岳的環境にはイヌワシが生息し、森林的環境にはクマタカが生息している。実はイヌワシ・クマタカは昔から山地における森林施業等の人間活動により、その生息環境を保全されてきたことに気づく。地域の林業活動を活発にし、イヌワシ・クマタカを守る時代である。そのためにも、イヌワシ・クマタカの研究者が必要であるが、県内の10~30歳代の研究者はいないに等しい。行政や企業等からの依頼で調査・研究の業務が多い中、将来的には受託する者がいなくなることに危惧を感じる。</p>					